

検討事項について

翌年度以降の阿波おどりをより良いものにしていくために、「今年度の阿波おどり事業で生じた課題」を踏まえ、「次年度の阿波おどり事業の開催に向けた検討項目」について検証をお願いします。

1 チケット関係

チケット販売は阿波おどり事業の収入の根幹であるとともに、集客を通じた賑わいづくりにも大きな影響があります。

2019阿波おどりにおいては、前年度の取組みをベースにチケット販売を行いました。台風10号の影響による公演中止などもあり最終販売率が59.7%（14・15日は前売りのみ）で終了しました。

チケットに関して検討をお願いしたい主な項目は次のとおりです。

(1) 料金体系

事業収入の核となるチケットについては、将来にわたって阿波おどりを安定的に開催するためにも適正な料金設定を行うことが重要です。

また、特に有料演舞場については、公演ごとの販売状況を分析し、柔軟な価格設定や座席割の再構築、新規席種の検討などを通じて、団体・一般それぞれの販売率向上につながる方策について検討する必要があると考えています。

(2) 販売方法

今年度より対面販売所を開設するなど、新たな販売方法にも取り組みましたが、分かりやすい購入方法や、販売場所の拡大についての意見が寄せられました。

また、団体販売については、旅行エージェントから旅行商品造成時期を踏まえたチケット販売時期の設定について要望が寄せられています。

そこで、販売スケジュールの前倒しやチケットを購入しやすい環境づくりについて検討する必要があると考えています。

2 演舞場関係

演舞場の配置や規模に関しては、賑わいの演出といった観点はもとより、演舞場ごとの利用状況とともに、混雑の分散化や動線確保といった「安心・安全な環境の確保」という視点も重要となります。

また、阿波おどり事業の支出において、演舞場の設営や電気工事、警備業務などの経費が多くを占めており、収支構造の改善からも、適正な規模についての検証が必要です。

演舞場に関して検討をお願いしたい主な項目は次のとおりです。

(1) 開催時間

2部の終了時間が22時30分であることから、県外（特に関西圏）からの日帰りツアーが組みにくいという意見があります。また、阿波おどりは地域住民の協力と理解が不可欠であり、地域住民の生活にも配慮した開催時間が求められています。

そこで、開始時間や公演時間などについて検討する必要があると考えています。

(2) 演舞場の設置

チケットの販売状況だけではなく、従来から藍場浜公園入口、新町川水際公園及び両国橋南詰などに人込みが集中し移動も困難なほど混雑していること、さらには、おどり連の張り付け状況や、賑わいの創出といった観点も踏まえ、演舞場の設置場所や規模について検討する必要があると考えています。

(3) プログラム

今年度は阿波おどり振興協会による「総おどり」を日別に4つの有料演舞場で実施することとし、「総おどり」会場となった演舞場のチケット販売率は他の演舞場のチケット販売率と比較して明らかに高くなりました。

一方、市役所前演舞場の2部で実施した有名連を中心としたプログラムは、チケット販売率向上に有意な差はみられませんでした。

そこで、今年度新たに組み込んだプログラムや、さらなる演舞場ごとの魅力向上策について検討する必要があると考えています。

3 踊り連関係

今年度の阿波おどりは、「みんなで支えあっていく阿波おどりへの転換」のため、踊り連から参加費をいただくこととしましたが、基準の明確化を求める声とともに、参加費自体についても賛否両方の意見がありました。

また、有料演舞場の張り付け方法については、例年、見物客から、いわゆる有名連以外のおどり連の踊りに対する厳しい意見がある一方で、「地域の祭り」という観点から、そうした多様性があるおどり連が必要という声も寄せられています。

踊り連に関して検討をお願いしたい主な項目は次のとおりです。

(1) 張付方法

有料チケットを購入した見物客からは、より多くの「有名連」の踊りを見たいという要望がある一方で、阿波おどりの裾野を拡げ地域の伝統芸能として阿波おどりを後世に継承していくために、有名連以外のおどり連の踊る場所をしっかりと確保する必要があると考えています。

そこで、演舞場の張付方法について検討する必要があると考えています。

(2) 参加費

今年度から新たに創設した参加費制度に対しては、制度設計の初年度ということもあり、様々な意見が寄せられています。

昨年度の阿波おどり事業の検証結果から、「みんなで支えあっていく阿波おどりへの転換」のため導入した参加費制度ですが、誰もが納得し、円滑な運営を行うため、運用方法について検討する必要があると考えています。